

七月十日一齊全廠要求ヲナスベクアジプロレ要求貫徹スル迄八年貢全額ヲ不納トシソノ半額ヲ闘争基金ニ積立テタル。

全廠闘争同盟カンパノ遂行ニアタツテ德聯、兵聯ノ間ニ共同闘争委員會ヲ設ケル。委員左記六名

長尾、山口、谷畑、多田、本田、川端

右會議ハ成功裡ニ開催サレ闘争方針書ニ基キ今ヤ兩聯合會ハ各地支部ニ指令シテ全組合員ノ奮起ヲ促シツ、アル、更ニピラ、傳單ノ作成、全廠闘争同盟ノ趣旨方針ヲ詳細ニ記述シタバンフレット一万冊ヲ印刷中デアル。

田植ガ終ルト同時ニ永年ノ間、祖先以來強權的ニ搾取サレテキタ麥年貢ノ全廢ノ闘争ガ阿淡兩國ノ山野ヲ震憾セシメルデアラウ。

ソシテ第一回共同闘争委員會ニアタツテモ十數名ノ官憲ヲシテ嚴重ニ監視セシメタ、支配階級ハコノ闘争ノ白熱化ニ對シテオソラケ

傳家ノ賣刀ヲモツテノゾムカモ知レナイ。

ダガ熾烈ナル農民大衆ノ麥年貢全廢ノ叫ビハカ、ル彈壓ノ取ヲモ焼キツタシテ仕舞フデアラウ、マダ近畿全体ノ組合員大衆ハ斯クノ如キ必死ノ阿淡ノ兄弟ニ對シテ絕對ニ勝利ヲ保證スベキ團結的應援ト闘争資金ノ寄附ヲモツテ激勵シナケレバナラス。

カ、ル闘争ノ過程ニヨツテコソ兵聯、德聯大衆ノ戰線統一ノ問題ノミデハナク阿淡ノ農民大衆全体、否全日本ノ農民大衆ノ戰線統一力ノ結集ニ絶大ナル拍車ヲカケルモノデアル。

突如！

立禁四町歩ヲ襲來ス

和解進行中ノ暴舉

中河原支部ハ小作料請求土地返還訴訟ヲ地主ガ提起シ、訴訟中組合員大衆ノ威力ヲ以ツテ地主ヲ壓シ遂ニ訴訟ハ和解進行トナリツ、アツタトコロ突如田植期ヲ前ニシテ立禁四町歩ヲ執行シタ。